

はいいろ 灰色かび病

病原菌名 *Botrytis cinerea*

発生条件

20℃前後で多湿が続くときに激発しやすい。イチゴの地上部すべてを侵すが、果実がもっとも侵されやすい。密植にすると通風が悪くなり、発病を助長する。



果実発病

果実での発病が多く、はじめ淡褐色の小斑点を生じ、拡大して軟化し腐敗する。施設栽培では低温期から春に発生しやすい。



果実発病

葉柄、果柄でも発病し、灰色のかびを密生する。発病部は放置すると伝染源となる。



発病葉

褐色または黒褐色の病斑ができ灰色のかびを生じる。花殻の付着部等から生じることが多い。